2018年度トピックス

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

株式会社光通信との合弁会社「株式会社BEAMO（ビーモ）」業務開始
～ Beaconを使ったIoTサービス及びMVNO、法人向け携帯電話などを販売 ～

アプリックスと株式会社光通信の合弁会社「株式会社BEAMO（ビーモ）」が2018年１月４日に設立され、2018年２月１日から業務を開始しました。

株式会社BEAMOは、2017年11月９日に開催されたアプリックスの取締役会で設立が決議されました。決議時に仮称だった社名は、「Beacon（ビーコン）」、「MVNO」及び「Mobile（モバイル）」を組み合わせた「株式会社BEAMO」に決定しました。

会社名	株式会社BEAMO
英文会社名	BEAMO Inc.
所在地	東京都新宿区西早稲田二丁目20番９号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長：長橋賢吾
資本金	10百万円
大株主及び持分比率	株式会社アプリックス：51%、 株式会社光通信：49%
URL	https://beamo.jp

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

水処理システムをIoT化するオールインワンパッケージ「HARPS（ハープス）」を４月１日に発売

アプリックスは、アメリカとヨーロッパで、2018年４月１日から「HARPS」の販売を開始します。日本での発売は2018年夏を予定しています。「HARPS」は、水処理システムに関する情報を、インターネット経由でモニタリング可能にするためのパッケージ製品です。今後は国内外の浄水器メーカー、飲食店、住宅設備メーカーといった浄水器を扱う法人、および水を使う機械、工場、施設などを販売・所有している法人に対して「HARPS」を提案していきます。

「HARPS」には、センサーの情報をインターネットに発信するための装置（センサーゲートウェイ）、スマホアプリ、専用のクラウドサービスなどが含まれています。

パッケージに含まれる装置やセンサーを水処理システムに取り付けるだけで、専用クラウドサービスを使用して水処理システムのモニタリングを開始できます。IoTに関する専門知識、水処理システムの工事や改造、新たな開発作業はいずれも不要です。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

AIアシスタント（スマートスピーカー）対応家電の開発支援サービスを開始

アプリックスは、スマートスピーカーを使って日本語の音声で家電を操作するための「AIアシスタント対応家電開発支援サービス」を、2018年５月８日に提供開始しました。

アプリックスは、AIアシスタント対応に必要となるIoTモジュール、アプリケーション、クラウドサービスなどを一式まとめて提供することができること、加えてAmazon AlexaとGoogleアシスタントの両方に対応可能という強みを活かして、日本の家電メーカーなどに積極的に提案していく予定です。

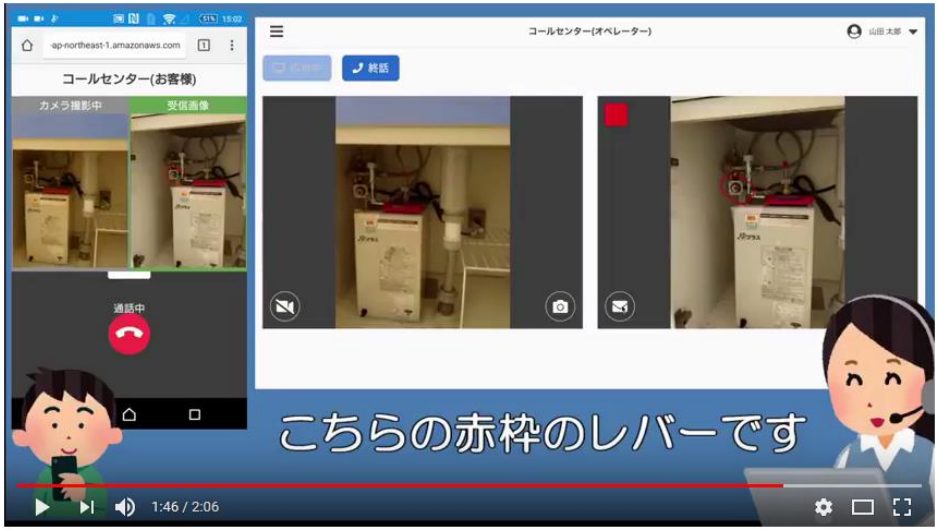
Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

言葉にしにくい電話でのコミュニケーションをアシストする「こそあどカメラ」を開発。６月に発売予定

アプリックスは、コールセンターなどのスタッフが、エンドユーザーからスマートフォンのビデオ通話で話を聞き、写真と手描きの指示でリアルタイムにサポートするサービス「こそあどカメラ」を開発しました。

専門家であれば簡単な操作であっても、エンドユーザーが電話でうまく状況を説明できず対応に時間がかかったり、専門用語がエンドユーザーに通じなかったり、作業員の派遣が必要となったりするなど、多くの会社はサポート業務の悩みを抱えています。

「こそあどカメラ」では、エンドユーザーとビデオ通話で症状を見ながら話をし、さらにはサポートスタッフが具体的な指示を写真上に直接書き込んだり、サポートスタッフ側からマニュアルのページや写真などを送信したりすることで、エンドユーザーに対してダイレクトに対応方法を伝えることができます。



Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「ドコモ5Gオープンパートナープログラム」に参加
～ 第５世代移動通信システム（5G）への対応を強化 ～

アプリックスは、株式会社NTTドコモが提供する「ドコモ5Gオープンパートナープログラム」に2018年２月に参加しました。今後アプリックスは、同プログラムから提供される「第５世代移動通信システム（以下「5G」）」の情報や技術検証環境を活用し、5Gに対応したIoT製品・サービスの研究開発に力を入れていきます。

「ドコモ5Gオープンパートナープログラム」に参加した企業・団体には、ドコモから5Gの技術や仕様に関する情報、参加者同士で意見・情報交換を行う5Gパートナーワークショップの場などが提供されます。さらに2018年４月からは常設5G接続環境も提供されるため、5Gに対応した製品やサービスの検証をいち早く行うことができます。

アプリックスは「ドコモ5Gオープンパートナープログラム」を活用しながら5Gに対応したIoT製品・サービスの研究開発を強化し、早期提供を目指します。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「InterAqua 2018 第９回国際水ソリューション総合展」と「2018 WQA Convention & Exposition」に出展

「InterAqua」は２月に東京ビッグサイトで、「WQA Convention & Exposition」は３月に米国で開催されました。両展示会では、「HARPS」 をはじめとする水処理システムをIoT化するアプリックス製品を展示しました。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「MyBeaconシリーズ」の拡充

■「MyBeacon Pro 汎用型」と「MyBeacon USBスティック型」の後継機種を発売。
■2017年末に限定販売した「少数パック」を定番商品化。
■受注生産でのみ販売していたオプション製品「盗難防止用フック」を再販売。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

米国Guardian社製空気清浄機へのGoogleアシスタント対応を実施
Google Homeなどのスマートスピーカーで操作可能に

アプリックスは、米国Guardian Technologies LLC製の空気清浄機「GermGuardian CDAP4500BCA Wi-Fi Smart 4-in-1 True HEPA Air Purifier with UV Sanitizer and Odor Reduction（以下「CDAP4500BCA」）」に対し、Googleアシスタント対応を行いました。この対応の結果、2018年４月から「CDAP4500BCA」は、Googleアシスタントを搭載した「Google Home」などのスマートスピーカーで音声操作できるようになりました。

「CDAP4500BCA」はアプリックスのIoTソリューションが採用された空気清浄機です。本体にアプリックス製IoTモジュールが組み込まれているほか、スマホアプリ「Guardian TE」及び専用のクラウドシステムをアプリックスが開発・提供しています。

今回のGoogleアシスタント対応では、アプリックスは以下の開発を行いました。

① アプリックスのクラウドシステムのGoogleアシスタント対応

② アプリックスのクラウドシステムとGoogleのクラウドシステムが連携するための開発

③ Googleアシスタント向けアプリ（Assistant app）「Guardian Technologies」の開発

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「ナショナル・レストラン・アソシエイション・ショー 2018（NRA Show 2018）」に初出展

「HARPS」と「KOSOADO CAMERA」を展示

アプリックスは、2018年５月19～22日に米国イリノイ州シカゴで開催された「ナショナル・レストラン・アソシエイション・ショー 2018（以下「NRA Show 2018」）」に初出展しました。

「NRA Show 2018」は43,000人以上のバイヤーが来場する、米国最大級のレストラン・食品サービス関連見本市です。

「NRA Show 2018」では、「HARPS」と、スマートフォンのビデオ通話で話を聞きながら、写真と手描きの指示でリアルタイムにサポートできるようにするサービス「KOSOADO CAMERA（こそあどカメラ）」の展示を行いました。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「MyBeaconシリーズ」の拡充

2018年４月１日に、持ち歩きに適した
「MyBeacon ペンダント型」の後継機種
「MB002 Ac-SR2」を発売 しました。

（右）MyBeacon
ペンダント型
MB002 Ac-SR2

（左）MyBeacon Pro
近接域特化型
MB004 At-DR2

2018年６月１日に、電波が届く範囲を限定した
「MyBeacon Pro 近接域特化型」の後継機種
「MB004 At-DR2」を発売しました。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

産官学共同の研究プロジェクト「WIDEプロジェクト」とワーキンググループ「SDM」に参加

アプリックスは、産官学共同の研究プロジェクト「WIDEプロジェクト」（代表：江崎 浩<東京大学大学院情報理工学研究科創造情報学専攻　教授>）と「WIDEプロジェクト」のワーキンググループである「Software Defined Media (SDM)」に参加しました。

■WIDEプロジェクト

1988年の発足以降、日本におけるインターネットの発展に大きく寄与してきた研究プロジェクトであり、広域にわたる大規模な分散コンピューティング環境を構築する技術の確立等を目的として活動し、全国の大学や研究機関、企業など100を超える団体が参加しています。

■Software Defined Media (SDM)

オブジェクト志向のデジタルメディアや視聴空間サービスのソフトウェア制御などの研究を行っている「WIDEプロジェクト」のワーキンググループです。

アプリックスは、2017年11月９日に発表した新事業ビジョンにおいて新技術への取り組みを掲げておりますが、「WIDEプロジェクト」及び「SDM」に参加させていただくことで、新たな技術の開発や新技術を使った製品開発への取り組みがさらに加速すると考えております。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Aplix

屋内測位／位置情報システム市場向けソリューション「groma（仮称）」発表

第１弾「groma AprilTagソリューション for SDM」をInterop Tokyo 2018に参考出展

アプリックスは、屋内測位／位置情報システム市場向けソリューションの開発を開始したことを発表しました。

また、本ソリューションを「groma（グローマ）」と仮称し、第１弾として、AR（Augmented Reality：仮想現実）マーカーを使った位置情報検知ソリューション「groma AprilTagソリューション for SDM」をiOS上に試験実装しました。

さらに「groma AprilTagソリューション for SDM」を、Interop Tokyo 2018のSoftware Defined Media（SDM）コンソーシアムブースで展示される立体音響再生システムに組み込む形で参考出展しました。

groma

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

水処理システムをIoT化するオールインワンパッケージ「HARPS」スイスDigmesa社の流量センサーを新たにサポート

「HARPS」が標準でサポートするセンサーのラインナップに、スイスDigmesa AG（以下「ディグメサ社」）製の流量センサー２種が加わりました。両センサーは「HARPS」標準でサポートするため、「HARPS」ユーザーは、これらのセンサーをディグメサ社から購入して浄水器に設置するだけで、インターネットを経由したフィルターの使用状況や交換時期のモニタリングをすぐに開始できます。

ディグメサ社は、スイスで30年以上の歴史をもつ流量センサーのメーカーです。

アプリックスは、水に関するお客様の製品やサービスが、より簡単に、スピーディにIoT化できるよう、今後も「HARPS」がサポートするセンサーの種類と提供サービスを拡充していきます。

（上）ディグメサ社製流量センサー

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「第３回 名古屋 機械要素技術展（M-Tech名古屋）」と「第22回 機械要素技術展（M-Tech）」のジョプラックスブースに出展

共同開発した「ジョプラビーコン」試作品をはじめ、アプリックスの「HARPS」を展示

アプリックスは、2018年４月11～13日にポートメッセなごやで開催された「名古屋機械要素技術展（M-Tech名古屋）」と2018年６月20～22日に東京ビッグサイトで開催された「機械要素技術展（M-Tech）」のジョプラックス株式会社のブースに出展しました。

ジョプラックスブースでは、アプリックスのモジュールが採用され、専用スマートフォンアプリの開発などをアプリックスが担当しているジョプラックス製浄水器IoT化製品「ジョプラビーコン」の試作品をはじめ、アプリックスの「HARPS」が展示されました。

（左）ジョプラビーコン

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

アプリックス公式Facebookページの開設

６月にアプリックス公式Facebookページを開設いたしました。
主に製品リリース情報や最新トピックスなど、幅広く情報発信しております。
また、代表取締役の長橋を含めたマネジメントチームより、毎週定期的に事業に関連する情報やその他様々な情報を投稿しております。

アプリックス公式Facebookページは https://www.facebook.com/AplixCorporation.official/ をご覧ください。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Beaconのそばを通るだけで時刻を記録
スマート打刻サービス「DAKOQ（ダコク）」の価格を決定し、販売開始

アプリックスは、Beacon（ビーコン）のそばを通るだけで打刻ができるスマート打刻サービス「DAKOQ（ダコク）」の価格を決定し、2018年７月20日（金）に、アプリックスのオンライン通販ショップ「mybeacon-store（マイビーコン・ストア）」およびアプリックス営業窓口で販売開始しました。

「DAKOQ」とはアプリックス製のBeacon、スマートフォンアプリ、およびクラウドをセットで提供し、人がBeaconに近づいた時刻を記録・管理するサービスです。

「DAKOQ」 Webサイト：
https://dakoq.hubea.com/
mybeacon-store：
https://mybeacon-store.stores.jp/

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Beaconが発信する情報を無線LAN経由でインターネットに送信「BeaBridge Gateway（ビーブリッジ ゲートウェイ）」を販売開始し、設定アプリを公開

アプリックスは、新製品「BeaBridge Gateway（ビーブリッジ ゲートウェイ）」を2018年７月20日（金）に、アプリックスのオンライン通販ショップ「mybeacon-store（マイビーコン・ストア）」およびアプリックス営業窓口で販売開始し、設定アプリを公開しました。

価格はアプリックスのクラウド利用料込で「BeaBridge Gateway」１台あたり9,980円（税込、送料込）、設定アプリは無料です。

「BeaBridge Gateway」は、Beacon（ビーコン）がBluetooth Low Energy経由で発信する情報を受信し、その情報を無線LAN経由でインターネットに発信するためのゲートウェイです。発信された情報はアプリックスのクラウドにシームレスに集められ、ユーザーはその情報をいつでもダウンロードして活用できます。

「BeaBridge」Webサイト： https://www.beabridge.io/
mybeacon-store： https://mybeacon-store.stores.jp/

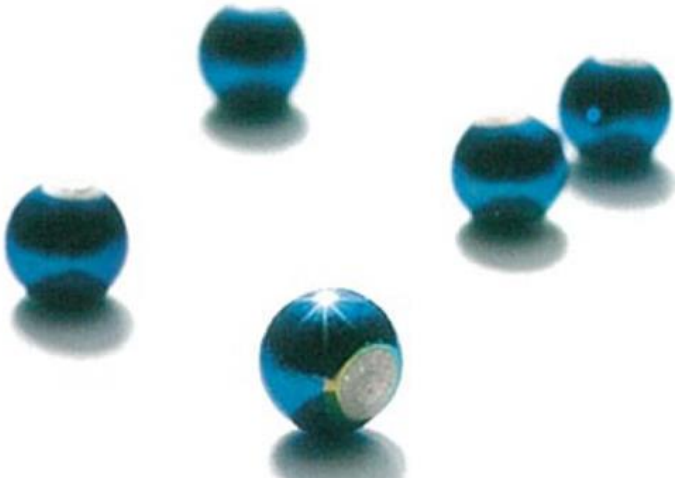
Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

エネルギーハーベスティングで電力問題の解決とコストの低減
スフェラーパワー社と、太陽光発電技術を利用したBeaconの共同開発で合意

アプリックスは、球状太陽電池の開発・製造・販売を行うスフェラーパワー株式会社と、太陽光発電技術を利用したBeacon（ビーコン）の共同開発を行うことについて、2018年９月に合意しました。

周囲の環境から光、熱、振動などのわずかなエネルギーを「収穫（ハーベスト）」して電力に変換する技術「エネルギーハーベスティング（環境発電）」が、IoTにおいても大きな注目を集めるようになりました。

アプリックスでも以前からエネルギーハーベスティングを活用したBeaconの研究を進めており、その中で世界初の三次元受光を実現したスフェラーパワー株式会社の球状太陽電池「スフェラー（右写真）」に着目しました。



「スフェラー」は直径が1～2mmの球状シリコンで作られ、ｐｎ接合が球面でプラス、マイナスの電極が対向した構造が特長です。一般的な平板太陽電池とくらべ球面全体で光を受けて発電するため、入射光の角度変動や設置角度の影響 が少なく、使用期間中の実質的な発電量が大きい特長があります。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Aplix

カメラをかざすと書類や在庫がすぐ見つかる「groma（グローマ）」第２弾、AR在庫管理スキャナー「Quanti（クアンティ）」を公開

アプリックスは、AR（Augmented Reality：拡張現実）在庫管理スキャナー「Quanti（クアンティ）」を開発し、2018年10月３日（水）に、日本をはじめ全世界のApp Storeで公開しました。

※画面はイメージです。

「Quanti」は、書類や在庫にiPhoneのカメラをかざすだけで、それらに貼られている複数のARマーカーを同時にスキャンし、その中から見つけたいものを素早く探し出すアプリです。

「Quanti」のダウンロード、利用、ARマーカーの出力いずれも無料で、ユーザー登録などの必要もありません。法人・個人問わず気軽にお試しいただくことができます。

「Quanti」Webサイト：
https://groma.jp/AprilTag

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「MyBeacon Pro MB004 UMc-DR」がucodeタグ認定取得
～ アプリックス製ucodeタグは2019年に提供開始予定 ～

アプリックスは、「MyBeaconシリーズ」の「MyBeacon Pro MB004 UMc-DR（以下「MB004 UMc-DR」）」が、2018年９月６日（木）、トロンフォーラムからucodeタグ認定を取得しました。

「MB004 UMc-DR」を基にしたアプリックス製のucodeタグは、2019年の提供開始を予定しています。またucodeタグの開発と並行してucodeを利用したサービスのコンサルティングや開発支援も行います。

＜ucodeタグとは＞

ucode（ユーコード）とは、個々のモノや場所などを識別するためのIoT向けのネットワーク解決型汎用識別番号です。ucodeはトロンフォーラム内の組織であるユビキタスIDセンターによって発行・管理されており、国際連合の下部組織であるITU-T（国際電気通信連合・電気通信標準部門）が制定した国際標準規格「ITU-T Y.4804/H.642.1」を実現するための特に重要な技術として全面的に取り入れられています。

ucodeタグとは、ucodeを格納し、自動的に読み取れるようにするための媒体です。ucodeタグにはバーコード、RFIDタグなどの媒体も利用されますが、トロンフォーラムが策定した「Bluetooth LE ucode マーカー」もucodeタグの一種です。Bluetooth LE ucode マーカーの仕様は「Bluetooth LE ucode マーカーパケット仕様 [UID-00049]」で規定されており、「MB004 UMc-DR」はこの仕様に準拠しています。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

屋内測位／位置情報システム市場向けソリューション「groma（グローマ）」のサービスを拡充
～ ICTを活用した歩行者移動支援の実現に向けて ～

アプリックスは、国土交通省が推進する、ICT（情報通信技術）などを活用した歩行者移動支援の取り組みに係る各プロジェクトの成果および指針、並びに2018年５月に改正されたバリアフリー法などに則り、アプリックスのBeacon（ビーコン）技術を１つの基軸としたコンサルティングやシステム構築などのサービスを、2018年10月22日から提供開始しました。

2020年開催予定のオリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「高齢者や障がい者、外国人旅行者なども含め、誰もが必要に応じて移動に関する情報を入手し、積極的に活動ができるユニバーサル社会の構築」を目指した歩行者移動支援の普及促進活動が、国土交通省を中心に行われています。今後はさまざまな民間事業者による新たなサービス展開なども想定されるため、歩行者移動支援の全体的な市場規模は拡大していくものとアプリックスでは予想しています。アプリックスは、ICTを活用した歩行者移動支援に係る事業および屋内外シームレスなナビゲーションなどのサービス事業を展開する国内事業者様に、このサービスを積極的に提案していきます。

またアプリックスはこのサービスを、アプリックスの屋内測位／位置情報システム市場向けソリューション「groma」の1つとして位置づけています。来年に向けて、ICTを活用した歩行者移動支援および屋内外シームレスなナビゲーションなどに係る新たなアプリの開発およびサービスの創出についても鋭意取り組んでいきます。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Aplix

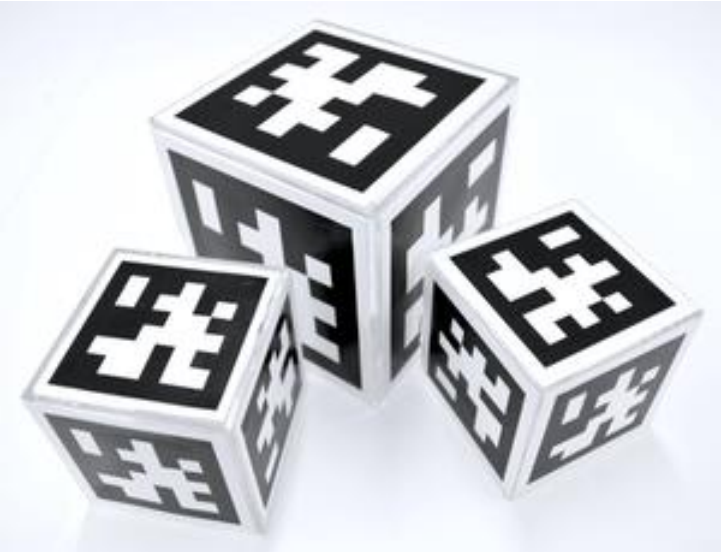
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科主催「KMD FORUM 2018」に出展
～「groma（グローマ） AprilTagソリューション for SDM」による ARを使った音の定位変化デモを体験可能 ～

アプリックスは、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（KMD）が2018年11月2日（金）から開催する「KMD FORUM 2018」のSoftware Defined Media（SDM）ブースに、「groma（グローマ） AprilTagソリューション for SDM」を出展しました。

SDMブースでは、AR（Augmented Reality：拡張現実）を使って音の定位（空間的位置）を変化させるデモを行います。来場された方はこのデモを実際に体験していただきました。

「groma AprilTagソリューション for SDM」では、SDM-WGメンバー企業によって構成された立体音響再生システムに、アプリックスの位置情報検知ソリューションを組み込んでいます。またARマーカーには、３次元空間上の位置や姿勢を、画像から正確に計算できる「AprilTag」を利用しています。

「KMD FORUM 2018」では、ARマーカーを６面に貼り付けた立方体（右写真）を使い、立体音響再生システムにおいて再生される音の定位が、立方体の動きに応じて変わるデモを体験できます。



Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

新・宅配サービス「MACHI ECO（マチエコ）便」で、ネスレ日本のシステム開発を支援

ネスレ日本株式会社様の新・宅配サービス「MACHI ECO（マチエコ）便」のシステム開発を支援しました。

アプリックスは「MACHI ECO便」において、
以下のような開発支援・保守を担当しています。

■専用のWebシステム

メール送信、ネスレ公式オンラインショップとの連携、宅配管理など。

■専用の宅配ロッカーのシステム

「MACHI ECO便」システムとの連携、QRコードの読み取り、商品の入出庫管理、盗難防止など。

「MACHI ECO便」Webサイト：https://machieco.jp/

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

アプリックスとシマフジ電機がルネサス エレクトロニクス製マイクロプロセッサRZ /T1向けI /O端子機能仮想化技術「fvIO™」を共同でプロモーションしていくことで合意

組込み向けハードウェア及びソフトウェアの開発を手掛けているシマフジ電機株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役：藤代巌、以下「シマフジ」）と、シマフジが開発した「fvIO™」技術を共同でプロモーションしていくこと、並びに同社の「fvIOプラグイン™」の販売なども協力して進めることについて、2018年11月に合意しました。

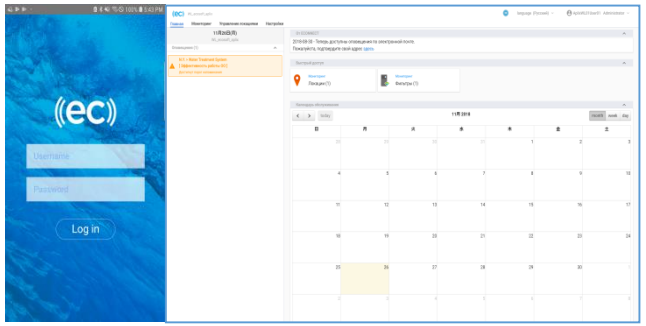
アプリックスは、fvIOホストであるルネサスの「RZ/T1（RZ/Tシリーズ）」をはじめ、ルネサスの「e-AI」を高速実行するオフロードエンジンとして最適なDRP（Dynamically Reconfigurable Processor、ルネサスが開発した、1クロックごとに演算回路を動的に変更できるプロセッサ技術）を搭載するマイクロプロセッサ「RZ/A2M」、並びにこれらに対応するシマフジの「fvIOプラグイン」をベースとする組込み機器開発、開発支援、受託開発及びソリューションの構築などを行います。また、併せてシマフジの「fvIOプラグイン」に係る販売代理業務も開始する見込みです。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

ウクライナ最大の浄水器メーカーEcosoftが アプリックスの「HARPS™（ハープス）」を採用

アプリックスが提供する水処理システム「HARPS™」が浄水器メーカーであるEcosoftに採用され、ウクライナ全土に展開するガソリンスタンドOKKOに設置されたEcosoftのウォータースタンドのモニタリングを開始いたしました。

Ecosoftでは以前よりOKKOのガソリンスタンドに対してウォータースタンドを設置していましたが、水のペットボトルを保存するために多くのスペースの確保が必要となったり、次の配達を待たずに水が使い終わったりするなど、不便な状況が続き、また、スタッフがコーヒーメーカーの水位を確認し忘れてしまい、コーヒーメーカーが故障するなどの状況を改善するため、 「HARPS」を搭載した逆浸透膜（RO膜）フィルター付き浄水器をOKKOのガソリンスタンドに440個以上設置しました。



その結果、ダッシュボードでモニタリングしている水量や汚染具合といったデータを利用し、OKKOに対してタイムリーな情報と継続的に美味しい水を提供することができるようになったことから、OKKOのサービス向上に寄与し、また、「ECONNECT Dashboard」で管理するデータに基づいて請求する仕組みを構築することで、Ecosoftの業務効率化も実現しました。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

アプリックスの子会社BEAMO（ビーモ）が PC自動ログイン/ログオフシステム「iLUTon（イルトン）」の取扱いを開始

アプリックスの子会社である株式会社BEAMO（ビーモ）が、株式会社イージーディフェンスと販売代理店契約を締結し、イージー社が開発・販売するPCの自動ログイン/ログオフシステム「iLUTon（イルトン」の取扱いを2018年12月から開始いたしました。

「iLUTon」は、受信機をPCに接続してカードを携帯しておくだけで、席を離れる時に自動でログオフし、席に戻ってくる時にパスワードの入力をすることなく自動でログインできるという特徴を持つPC自動ログイン/ログオフシステムです。

ビーモでは、法人向け携帯電話やSIMの販売、契約管理業務の効率化を促進する電子契約サービス、スマート打刻サービス「DAKOQ™」等の販売を行っておりますが、「iLUTon」を取扱うことにより、個人情報など機密情報の漏えい対策を促進する新たなソリューションとして提案することが可能となると考えております。

※ 「iLUTon（イルトン）」の製品紹介動画： http://iluton.net/video/use.mp4

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

株式会社アプリックス
https://www.aplix.co.jp/

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.